

令和5年度 全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果について

桶川市立川田谷小学校

はじめにお読みください。

<調査の結果をご覧になる方へ>

各小・中学校では、全国及び埼玉県学力・学習状況調査の結果を、一つの資料として児童生徒一人一人の学習状況と、学校全体の学習への取組状況等を把握しています。また、学力の経年変化等、学校全体で情報を共有するとともに、調査結果の分析を通して自校の取組の成果と課題を明らかにしています。さらに、その分析に基づき、課題解決のための「学力向上プラン」を点検し、児童生徒の学力向上に係る取組の改善を図っております。



今後、成果を上げたと考えられる取組を校内でも共有し、さらなる児童生徒一人一人の学力向上に努めてまいります。

また、調査の結果とその分析、学力向上に係る取組を、保護者及び地域の皆様にお知らせし、情報を共有することを通して、学校の状況をより深く知っていただき、家庭での学習にも生かしていただくことが、児童生徒の学力向上につながると考えます。

調査の結果をお知らせするにあたり、本結果をご覧になる方々には、以下の点にご留意くださいますようお願いいたします。

- (1) 各調査の目的等について、ご理解くださるようお願いいたします。
- (2) 埼玉県学力・学習状況調査は、特に児童の伸びを見ることができる調査となっております。平均正答率等の数値だけではなく、学校で分析した結果や学力向上プランをはじめとする学校の取組とあわせてご覧ください。
- (3) 本調査で測れるのは、①調査対象の教科等学力の特定の一部分であること、②学校における教育活動の一側面であることをご理解ください。

<全国学力・学習状況調査の概要>

※「令和5年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要領」(文部科学省)より抜粋

1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

小学校第6学年、原則として全児童

3 調査実施日

令和5年4月18日(火)

4 調査の内容

(国語、算数、理科) 教科に関する調査	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校調査は、国語、算数とする。 ・出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容 ・調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び算数においては、記述式の問題を一定割合で導入する。 	
	【小学校 国語・算数 各45分】	
生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査	児童生徒に対する調査	学校に対する調査
	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 将来の夢や目標の有無、起床・就寝時間、ICTの利用状況、読書時間、家庭学習の状況など 【20分程度】	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 学力向上に向けた取組、指導方法の工夫、教育の情報化、教員研修、家庭・地域との連携の状況など

本校の調査結果の概況

小学校

＜教科に関する調査＞ は全国平均正答率を上回ったもの



国語				
学習指導要領の領域等	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
言葉の特徴や使い方に関する事項	5	72.9	72.8	71.2
情報の扱い方に関する事項	2	65.6	64.4	63.4
話すこと・聞くこと	3	75.7	73.9	72.6
書くこと	1	18.8	26.1	26.7
読むこと	3	77.8	72.5	71.2

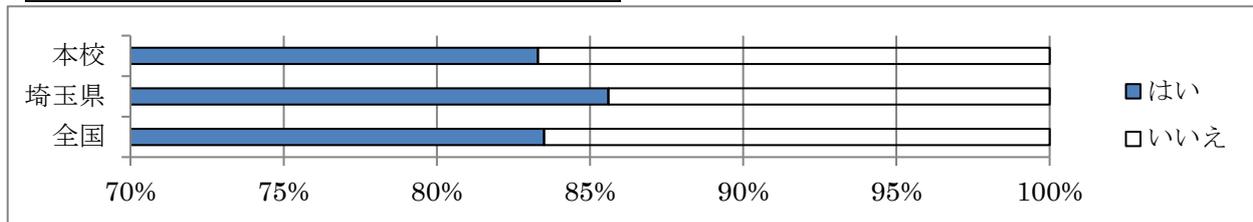
算数				
学習指導要領の領域	設問数	本校平均正答率 (%)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)
数と計算	6	64.6	67.1	67.3
図形	4	41.7	47.8	48.2
変化と関係	4	67.7	71.0	70.9
データの活用	3	66.7	66.3	65.5

<児童への質問紙調査> (主なものをグラフで表示)

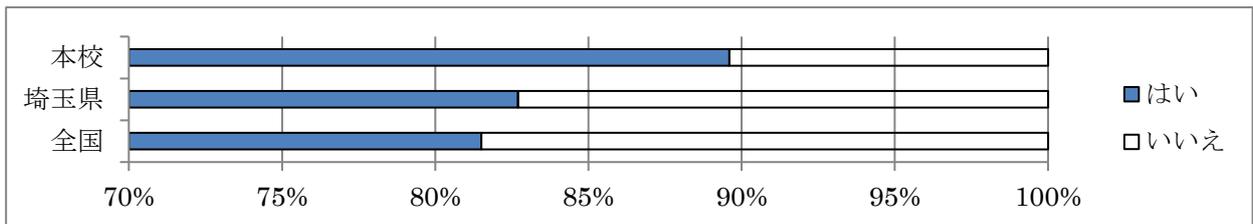
はい…そう思う、どちらかといえばそう思う

いいえ…そう思わない、どちらかといえばそう思わない

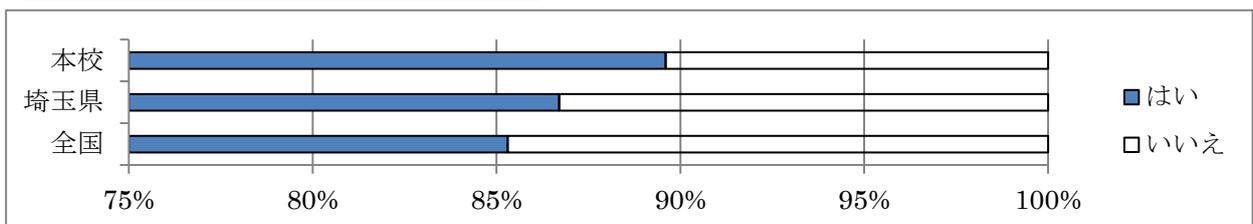
自分には良いところがあると思いますか。



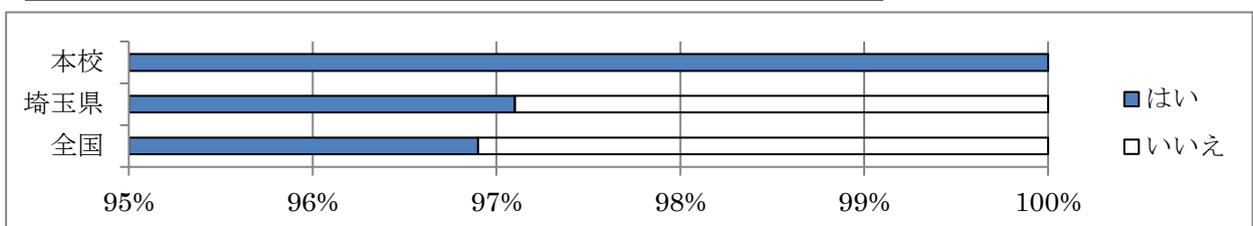
※将来の夢や目標を持っていますか。



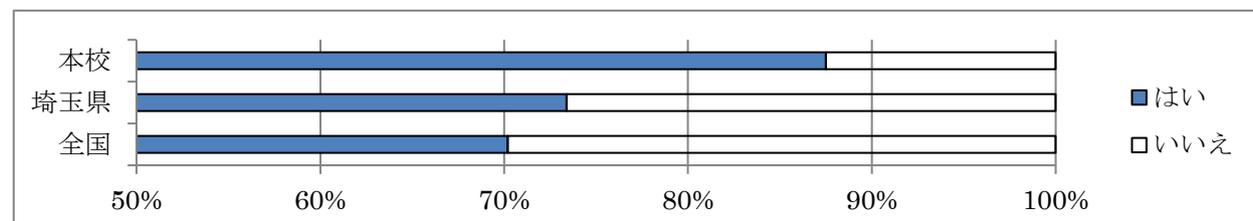
※学校に行くのは楽しいと思いますか。



※いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



※自分で計画を立てて勉強をしていますか (学校の授業の予習や復習を含む)



本校の調査結果の分析・考察

<国 語>

【領域別】

本校の平均正答率は、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「読むこと」の内容で、県平均及び全国平均正答率を上回り、「書くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」の内容で、県平均及び全国平均正答率を下回りました。

【問題の概要】問題番号曰の二

(川村さんの文章) の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く

【問題の趣旨】

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題で、本校の正答率は、全国平均より7.9ポイント下回っています。

【分析】

自分の考えが伝わるように文章を書くには、図表やグラフなどを用いるなどして書き表し方を工夫することが大切です。川村さんは、選んだカードや自分で作成したグラフを用いて、米作りの問題点と解決方法について文章を書いています。ここでは、【川村さんの文章】のグラフと【カード】のそれぞれから分かる学校の米作りの問題点と、【カード】を基にした問題点の解決方法を、60字以上、100字以内で書くことが課題としてあげられます。

【今後の指導の重点】

自分の考えが伝わるように書く際には、図表やグラフなどを用いるなどして、書き表し方を工夫することが大切です。図表やグラフなどを用いるのは、示すべきことが、図解したり、表形式やグラフ形式で示したりした方が分かりやすい場合です。観察や実験、調査の結果などを記述する際には、図表やグラフを用いることで、自分の考えを深めたり、相手にとってよく理解できるものにしたりすることが大切であることを指導していきます。

また、様々な情報の中から原因と結果の関係を見だし、結び付けて捉えることや、読みやすさを考えて漢字を正しく書くこと、文章の種類とその特徴を理解することができるようにしていきます。

<算 数>

【領域別】

本校の平均正答率は、「データの活用」の内容で、県平均及び全国平均正答率を上回り、「数と計算」「図形」「変化と関係」の内容で、県平均及び全国平均正答率を下回りました。

【問題の概要】問題番号3の(4)

66÷3の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ

【問題の趣旨】

(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかをみる問題で、本校の正答率は、全国平均より14.3ポイント下回っています。

【分析】

除法の筆算について、他の学習内容と関連付けて、計算の仕方について捉え直すことができるようにすることが大切です。

本設問では、(2位数)÷(1位数)の筆算について、計算に関して成り立つ性質や図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかを問うています。ここでは、筆算の商の十の位にたてた「2」が、60÷3の計算をした結果を表していると捉えるために、66÷3の筆算を図と関連付けて考察することが課題としてあげられます。

【今後の指導の重点】

算数の学習では、日常生活の事象を数理的に捉え、式に表現して処理したり、計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫したりすることが重要です。

そのために、例えば、日常生活の場面を式に表したり、式を場面と関連付けて読み取ったりすることを通して、問題の解決に式を用いることができるようにしていきます。また、問題場面の数量の関係に着目したり、計算の結果を振り返ったりすることで、計算に関して成り立つ性質に気付いたり、計算の仕方について捉え直したりすることができるようにしていくことにも取り組んでいきます。

<質問紙調査から>

【質問番号（23）】

<質問>

学校の授業時間以外に、普段（月曜日か0金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

<回答>

1時間以上「読書している」と回答した児童は39.6%であり、全国平均より21.1ポイント高い数値を示しています。また、2時間以上「読書している」と回答した児童は20.8%であり、全国平均より13.2ポイント高い数値を示しています。

- タブレット端末の活用が広がる中で、学校における毎週の読書タイムや読み聞かせ、学校図書館の整備を含む読書への積極的な取り組み、各学級における各教科との並行読書などにおいて読書が定着していることがうかがえます。

【質問番号（9）】

<質問>

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

<回答>

「当てはまる」と回答した児童は、93.8%であり、全国平均より11.2ポイント上回っています。「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた肯定的な回答をした児童の割合は100%で、全国平均より3.1ポイント上回っています。

- いじめを生まない学校にしていくには、全ての学校で温かな人間関係に支えられた支持的な風土を醸成することが重要です。本校では、毎月、「川小人権の日」としていじめに関するアンケート調査を実施しています。児童がよりよい、そしていじめを生まない学級にするために学級目標やルールについて話し合い、確認し合うことを積み重ねています。児童が主体的に児童自身の問題への気付きから、現状を確認し合い、話し合い、主体的にルールを見直す活動を今後も継続していきます。

<埼玉県学力・学習状況調査の概要>

※「令和5年度埼玉県学力・学習状況調査（調査の概要）」（埼玉県教育委員会より抜粋）

1 調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

参考：[【埼玉県学力・学習状況調査】埼玉県教育委員会ホームページ（新規ウィンドウを開きます）](https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html)

<https://www.pref.saitama.lg.jp/f2214/gakutyou/20150605.html>

2 調査対象

小学校第4・5・6学年 原則として全児童

3 調査実施日

令和5年5月10日（水）

4 調査の内容

（1）教科に関する調査

小学校第4学年から第6学年まで 国語、算数

※ 学習指導要領に示された内容のうち調査する各学年の前の学年までの内容

（2）質問紙調査

学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項

本校の調査結果の概況

<教科に関する調査> は県平均正答率を上回ったもの

※学力の伸びた児童の割合…前年度から学力が伸びた児童の全体に対する割合

↑↑↑↑↑=80%以上、↑↑↑↑=70%以上80%未満、↑↑↑=60%以上70%未満、↑↑=50%以上60%未満、↑=50%未満

国語	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
教科の領域等									
言葉の特徴や使い方	17	71.1	68.0	14	70.1	69.3	14	69.0	71.4
情報の扱い方、我が国の言語文化	6	69.4	64.2	7	57.7	61.3	3	51.1	47.7
話すこと・聞くこと・書くこと	5	54.4	51.3	4	51.9	60.0	5	43.4	51.3
読むこと	3	59.3	57.5	6	46.3	51.0	9	49.4	53.8
※学力の伸びた児童の割合					↑↑↑↑↑	↑↑↑↑↑		↑↑↑↑	↑↑↑↑

算数	第4学年			第5学年			第6学年		
	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率	設問数	本校平均正答率	県の平均正答率
教科の領域等									
数と計算	13	72.9	71.7	14	62.7	63.4	13	56.5	60.2
図形	6	53.7	56.5	8	56.5	61.3	8	59.8	60.3
4年測定 5、6年変化と関係	6	56.5	56.5	6	59.3	64.2	7	53.5	53.9
データの活用	6	65.3	61.7	4	51.9	63.4	5	40.0	44.3
※学力の伸びた児童の割合					↑↑	↑↑↑		↑↑↑	↑↑

<児童への質問紙調査> (主な結果:「規律ある態度」に関する項目の結果)

※ 達成率:「できる」「よくできる」「だいたいできる」の合計)と回答した割合

上段: 県の達成率、下段: 本校の達成率、 は80%以上 (%)

内容	項目	第4学年	第5学年	第6学年
○けじめある生活ができる	1 時刻を守る			
	① 登校時刻	92.0 94.4	93.1 92.6	93.9 89.4
	② 授業の開始時刻	90.6 94.4	91.9 92.6	94.4 89.4
	2 身の回りの整理整頓をする			
	③ 靴そろえ	82.1 80.6	81.8 85.2	85.8 95.7
	④ 整理整頓	79.3 80.6	76.4 77.8	77.1 78.7
○礼儀正しく人と接することができる	3 進んであいさつや返事をする			
	⑤ あいさつ	80.3 75.0	77.4 77.8	77.7 89.4
	⑥ 返事	90.0 91.7	88.1 85.2	87.8 87.2
	4 ていねいな言葉づかいを身に付ける			
	⑦ 正しい言葉づかい	85.7 91.7	86.6 92.6	88.8 85.1
	⑧ やさしい言葉づかい	86.4 88.9	84.7 88.9	85.1 85.1
○約束やきまりを守ることができる	5 学習のきまりを守る			
	⑨ 学習準備	84.6 86.1	85.3 85.2	86.6 87.2
	⑩ 話を聞き発表する	80.9 80.6	77.3 85.2	74.4 78.7
	6 生活のきまりを守る			
	⑪ 集団の場での態度	86.7 94.4	84.7 92.6	85.7 85.1
	⑫ 掃除・美化活動	91.8 91.7	89.2 88.9	87.9 87.2

本校の学力向上の取組

授業における取組

☆…成果を上げたと考えられる取組

■…課題を解決するための取組

授業での取組

☆■ 「小グループ活動」を位置づけ、互いの意見を聞き話し合うなど、個々の考えを大切にし、意見交流する時間を確保します。周りの人に分からないところを徹底的に聞いたり、小グループでの発表を積み重ねたりする中で児童自身の力を高めていきます。

授業以外の取組

☆■ タブレット端末を積極的に活用し、自主学習を励行し、学習した知識を生かしたり、興味・関心に合わせた取り組みをしたりできるようにし、児童の意欲を高め、学びを深めます。

保護者・地域の皆様へ

日頃より、川田谷小学校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。ごさいます。

今年度より川田谷小学校の目指す学校像は、「きき合い つながり合い 学びを楽しむ 川田谷小」に一新され、これまで以上に、児童が充実した学校生活を送ることができるように取り組んで参ります。ご家庭や地域においても、挨拶や返事、会話を通して児童とのつながりを大切にさせていただきたいと思ひます。

今年度の調査結果からは、児童がこれまで以上に集団を意識し自分の態度に気を付けたり場を整えたりしようとする意識が高まっている様子が見られました。今後とも、ご家庭で規則正しい生活習慣を身に付けさせるとともに、大人に対する言葉遣いや公共の場での態度などの指導にご協力ください。

また、学校から発進する各種のお手紙や授業で取り組んだもの、宿題などに目を通していただき、内容についてお子さんと確認していただけますと助かります。今後とも引き続き、保護者、地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

また、学校から発信する各種のお手紙や授業で取り組んだもの、宿題などに目を通していただき、内容についてお子さんと確認していただけますと助かります。今後とも引き続き、保護者、地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

令和5年度 学力向上に係る全体計画

桶川市立川田谷小学校

R6.1

- ・関係法規
- ・学習指導要領
- ・埼玉県小学校教育課程編成要領
- ・埼玉県教育振興基本計画
- ・埼玉県指導の重点
- ・桶川市 学校教育 指導の重点 等

学校教育目標
『自主的・主体的にやりぬく子』
かしこい子
思いやりのある子
たくましい子

- ・地域の実態
- ・児童の実態
- ・保護者の願い
- ・教師の願い
- ・期待される児童像
- ・学力向上に係る本校の課題

※下線:県平均以下の項目

令和5年度 埼玉県 学力・学習状況調査

○国語
【学力レベル・伸び】
☆4年生 6-C
☆5年生 6-A
☆6年生 7-B
☆4年生 (領域別平均正答率)
*話聞書 54.4%
*言葉 71.1%
☆5年生 (領域別平均正答率)
*話聞書 51.9%
*言葉 70.1%
☆6年生 (領域別平均正答率)
*話聞書 43.4%
*言葉 69.0%

○算数
【学力レベル・伸び】
☆4年生 5-C
☆5年生 5-B
☆6年生 6-B

全国学力・学習状況調査

【全体平均正答率】
○国語 70%
○算数 59%

※学習環境の整備
アンケート分析
学習習慣の確立
全職員で問題を解く
伸ばした指導の共有
学級経営の改善
学習指導の工夫
指導の見届け
検証改善サイクルへ

めざす学校像
きき合い つながり合い 学びを楽しむ 川田谷小

本校の課題
「主体的に取り組む」「考えを表出する」

PDCAサイクルを生かした
課題の改善

P課題を改善するための計画等

- 学校課題研究における取組 (特別の教科道徳を中心に)
- 授業研究会の実施
- 指導方法や評価方法の工夫改善 (少人数指導等)
- 研修計画の工夫改善

D計画に基づく指導の実践

- 朝読書 (べこばな読書)・モジュール学習 (トライトイム) の活用
- 「主体的な学習」の実践
- 「考えの表出」の実践
- 言語活動の充実
- 家庭学習の推進

C学力調査等のデータを生かした実態の把握

- 自校の児童の実態把握
- 全国学力調査問題分析
- 自校の教育活動の成果と課題の把握
- MEXCBT問題の活用

A課題の絞り込み

- 次年度の教育計画、全体計画、年間計画等への反映

改善に至る手だてとプロセス (重点的取組)

- 重点的取組の決定
・自主的・主体的に学習する児童の育成を図る授業の充実
・児童のよさや進歩の状況の積極的評価
- 全職員による共通理解・共通行動
- 保護者・地域住民への広報
- 各学級での学力向上プラン「1時間1時間の授業改善を図るための手だて」の実践
- 各取組の評価・検証
- 学力向上に係る全体計画の修正と実施

校内組織・分掌体制の改正・構築

各教科の指導の重点

各教科

- 言語環境の整備、言語活動の充実、情報活用能力の育成
- 体験活動の充実、探究活動の推進
- 学習を見直し、振り返り活動の定着

国語

- 教材文を正しく読む力を高める指導
- 必要な語句を用い、根拠に基づいて自分の考えを伝える力を高める指導

算数

- 自分の考えを数学的な表現を用いて表現する力を高める指導
- 数量の関係を着目し、数量の関係を図や式を用いて表し、式と図を関連付けて読む力を高める指導

特別の教科 道徳

- 答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童が自分自身の問題と捉え、考え、議論する力を高める指導

外国語活動・外国語

- 主体的に楽しくコミュニケーションを取る力を高める指導

総合的な学習の時間

- 主体的・協働的・探求的な学習を通して、教科横断的な学習の仕方を身に付けさせる指導

特別活動

- 学校や学級の課題を見出し、よりよく解決するため話し合っ合意形成する力を高める指導
- 主体的に組織を作り、役割分担して協力し合う力を高める指導

授業改善の視点 (具体的取組)

	I	II	III	IV
観点	指導内容・指導方法の工夫	教育課程への対応の工夫	学習評価活動の工夫	保護者・地域との連携を通して
基本方針	○基礎・基本を定着させる場の設定 ○指導方法や指導態度の工夫改善	○教育課程の趣旨の共通理解と確実な実施 ○指導計画、教材等の整備	○児童のよさや学習状況の積極的な評価	○家庭や地域社会との連携 ○幼小中等相互の交流(2年生幼稚園訪問、6年生中学校訪問、小中連絡会)
具体的取組	・少人数指導、T.T. ・教材研究の充実 ・言語活動の充実 ・ICT機器の効果的な活用(欠席児童への授業配信含む) ・スマイルアップノートの活用(見直し・振り返り) ・授業研究会(課題研)	・年間指導計画の見直し ・学校課題研究の取組 ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 ・教科横断的な学習 ・「モジュール学習」の取組 ・「朝読書」の取組	・カリキュラムマネジメントの推進 ・PDCAサイクルの確立 ・評価規準の整備 ・評価計画の作成 ・アンケートの活用(課題研) ・スマイルアップノートの活用(学習方策・学習内容の評価)	・保護者との連携・協力 ・学校応援団との連携強化 ・あいさつ運動(児童会、西中あいさつ運動) ・学校の情報公開(学校だより、情報メール、HP等)